５月度「京都学ラウンジ　ミニ講座」（開催報告）

２０１９年５月３０日
京都学・歴彩館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。この度、５月９日（木）～５月３０日（木）にかけて４回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　２０１９年 5月9日・１６日・２３日・３０日
いずれも木曜日１３：３０～１４：００

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ 参加者数　　３７名（９日）、３９名（１６日）、３９名（２３日）、
３１名（３０日）　合計　１４６　名

■ 内　　容　　講師：資料課　松田　万智子
「小西大東　―忘れられた近代京都の文化人―」（全４回）
第１回 小西大東とは　　第２回 小西大東と京都史蹟会
第３回 京ブランドのプロデューサー　　第４回 小西大東をめぐる人々
レジュメを配付するとともにパワーポイントを使って説明。

■ 講座の様子

それは一件の問合せから始まった。個人が所有する絵巻物に記された人の名前。この人物はどういった経歴をもった人なのであろうか。人名辞典にも名を載せない謎の人物、それこそが今月ミニ講座の主役、小西大東、その人である。

この謎多き人物に関するたくさんの方々へのインタビューや所蔵資料の博捜を通じて、忘れられた近代京都の文化人“小西大東”に迫った。ある時には歌学者、有職故実の研究者として、そしてまたある時には京菓子の命銘者としての側面を見せる小西大東は、まさに文化人と呼ぶに相応しい。5 月度のミニ講座では、小西大東の事績を追う資料課職員より、今までに明らかになった小西大東像について説明があった。

ある時代の京都で文化活動を行いながらも、近代京都という都市の中に埋没してしまった人たちにスポットを当てることは、文化都市京都の成り立ちに多くの人が関わったことを再認識する上でも重要であり、大変有意義なミニ講座であった。